事業事前評価表

国際協力機構
東南アジア・大洋州部 東南アジア第四課

１．案件名（国名）

国名：カンボジア王国
案件名：シハヌーク州病院整備計画
（The Project for Improvement of Sihanouk Province Referral Hospital）

２．事業の背景と必要性

(1) 当該国における保健医療セクターの現状と課題

カンボジア王国では 1970 年代からの内戦の影響で、医療従事者数が激減し、医療機材や施設が破壊され、保健システム全体が壊滅的打撃を受けた。内戦終結後、多数のドナーが保健分野を支援し、特定疾病に対する予防ケアが集中的に実施されてきた。しかし、依然として病院の保健サービス提供体制は脆弱で、特に地方においては病院内で基本的な医療機器等が整備されていない状況である。

(2) 当該国における保健医療セクターの開発政策における本事業の位置づけ及び必要性

本事業は、カンボジアの保健戦略計画 2008-2015(Health Strategic Plan 2008-2015, HSP2)が掲げる保健システムの強化に貢献するものである。保健サービス供給にかかる戦略内容としては、リファラル病院における病院施設機材ガイドライン（CPA（Complementary Package of Activities）ガイドライン)に基づく実施と強化、医療サービス供給体制の強化、リファラル・システムの強化等が挙げられている。シハヌーク州病院が位置するプレアシハヌーク州の人口増加率は 3.7%(2009 - 2010 年平均)、我が国の支援により開発が進む国内唯一の大水深のシハヌークビル港や経済特区が位置し、経済特区に近い市街地では 5.8%の人口増加を記録している。本事業対象のシハヌーク州病院は、人口約 19 万人をかかえる同州のトップ・リファラル病院（病床数：100 床、年間外来患者

数：20,110 名（2011 年実績））であり、唯一緊急搬送が可能な病院である。1964 年に完成した本病院は、雨漏りや床の損傷等、施設の老朽化に加え医療機材も老朽化が激しく、適切な保健サービス提供が困難な状況となっている。さらに、近年は救急病棟のベッド占有率が 176%を超え、2010 年には他医療機関からの紹介が前年比 128%に上がるなど利用率が急増しており、今後都市へのさらなる人口流入が見込まれる中、病院の整備を含めた適切な保健サービス提供の体制構築が必要となっている。

(3) 保健医療セクターに対する我が国及び JICA の援助方針と実績

保健セクターは、我が国のカンボジア国別援助方針(2012 年 4 月)の援助重点分野「社会開発の促進」に該当し、開発課題「保健医療の充実」の中で保健システム全体の強化に対する支援に取り組むため「保健システム強化プログラム」を設定している。これまでの我が国及び JICA の支援実績は以下のとおり（主要案件のみ）。

・レファラル病院における医療機材維持管理システム強化プロジェクト(MEDEM2)（2009-2014 年、技プロ）
・医療技術者育成システム強化プロジェクト(2010-2015 年、技プロ）
・助産能力強化を通じた母子保健改善プロジェクト（2010-2015 年、技プロ）
・国立、市及び州病院医療機材整備計画（2012 年 3 月閣議、無償）

(4) 他の援助機関の対応

カンボジア保健セクターにおいては、多数のドナーが政策・制度整備や保健サービス提供体制の改善を目指す財政支援型の協力を実施している。本事業の対象であるシハヌーク州病院においては、これまでに NGO 及び AusAID により眼科/歯科/耳鼻咽喉科、ゲイツ財団等により検査/血液銀行棟、米国 NGO により障害者ワークショップ棟が整備されている。

３．事業概要

(1) 事業の目的（協力プログラムにおける位置づけを含む）

シハヌーク州病院にトップ・リファラル病院として医療サービスを提供できる施設及び機材が整備することにより、リファラル体制とプレアシハヌーク州の医療サービスの向上を図り、もってプレアシハヌーク州住民の健康に寄与する。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

プレアシハヌーク州

(3) 事業概要

1) 土木工事、調達機器等の内容 ：

シハヌーク州病院の病院サービス棟や事務棟等の施設改築及び医療機材の整備

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

コンピューターX 線撮影システム(CR システム)、中央滅菌部門機材の運営・維持管理技術移転及び腹部外科、産婦人科、整形外科領域における、緊急手術にかかる臨床技術研修

(4) 総事業費/概算協力額

総事業費 15.75 億円(概算協力額(日本側)：15.54 億円、カンボジア国側：0.21 億円)単債

(5) 事業実施スケジュール（協力期間）

2013 年 4 月～2015 年 9 月（計 30 ヶ月）

(6) 事業実施体制（実施機関/カウンターパート）

カンボジア王国 保健省、プレアシハヌーク州保健局、シハヌーク州病院

(7) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類: C

② カテゴリ分類の根拠: 本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」(2010 年 4 月制定）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

2) 貧困削減促進・社会開発促進: 本事業前、施設・機材の老朽化により同病院では実施できなかった治療ができるようになり、これまで首都病院にアクセスできなかった貧困層が州病院で同等の治療が受けられるようになる。車椅子や障害者が院内を移動しやすいよう、病院サービス部門は平屋とし、事務棟のみ 2 階建とする設計とした。

(8) 他事業、ドナー等との連携・役割分担

MEDEM2 で医療機材の維持管理体制及び能力向上を行っており､本事業で整備される医療機材のメンテナンス体制強化の支援を行う。また完工後は臨床検査技師等の青年海外協力隊を派遣し、機材の有効活用を支援することも念頭に計画する。

(9) その他特記事項：特になし。

４．外部条件・リスクコントロール

(1)事業実施のための前提条件

政情不安、暴動等が起こらない。

(2)プロジェクト全体計画達成のための外部条件

CPA ガイドラインが大幅に変更されない。

５．過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1)類似案件の評価結果

無償案件「カンボジア国バンティミェンチャイ州モンゴルボレイ病院改修計画」（平成 16 年度）の評価等において調達された第三国製の医療機材について、地元業者がスペアパーツを調達できなかったため修理が困難であった機材があった。

(2)本事業への教訓

スペアパーツの調達ルート確保に留意した機材選定を行う。

６.評価結果

以下の内容により本案件の妥当性は高く、また有効性が見込まれると判断される。

(1) 妥当性

本事業は、当該国政府の保健政策並びに我が国及び JICA の援助方針に合致し、我が国がこれまで経済開発を主導してきた地域を対象としている。急速な都市化及び人口増加に伴う保健状況の悪化が懸念される同州において、唯一救急機能・入院設備を有する同病院の整備は、州全体における保健サービスの提供体制の確保につながり本事業実施の妥当性は高い。

(2) 有効性

1) 定量的効果

指標名	基準値（2011 年）	目標値（2018 年【事業完成 3 年後】）
入院患者数（人/年）	6,010	7,060
外来・救急患者数（人/年）	19,563	26,712
手術件数（件/年）	388	447.6
分娩件数（件/年）	1,170	1,487
血液検査件数（件/年）	2,144	2,927
生化学検査件数（件/年）	760	1,038
Ｘ線検査件数（件/年）	482	658
個室患者数（人/年）	0	443.6
救急/ICU 病床占有率（%）	135.7	82.45

2) 定性的効果

① シハヌーク州病院における医療サービスの向上により、対応が不可能であった患者の受け入れが可能となるなど、トップ・リファラル病院としてのリファラル体制の適正化に貢献する。

② X 線防護がなされていないシハヌーク州病院に鉄筋コンクリートで防護された X 線撮影室が設置されることにより、安全性が向上する。

③ 施設及び機材が整備されることにより、医療従事者のモチベーションが向上する。

④ 施設及び機材が整備されることにより、専門性の高い医療従事者の雇用が促進される。

７.今後の評価計画

(1) 今後の評価に用いる主な指標

6.(2) 1)のとおり。

(2) 今後の評価のタイミング

・事後評価：事業完成３年後

以　上